

安部さん…子供議会のおかげで心が大きく成長しました。
小川さん…人前で発表するのは緊張したけど楽しかった。

まちの景観



安部巧夢議員と
小川真歩議員
が町に問う！

Q 川越市の「蔵造りの町並み」や「京都」のような魅力的な景観にするための取組を。
A 都市政策課長 川越や京は、歴史的な観光資源が一定エリアに集約していますが、当町は、それらが点在して存在しているため、まちづくり

魅力が溢れる景観づくりを
答弁 点在する歴史的資源の周知を図っています。へのアプローチも異なり、簡単に比較できないものと捉えています。歴史的な観光資源を、多くの人に知ってもらうことが大切であると考え、まち歩きが楽しくなるように、案内板の設置や、まち歩きマップの作成等を行っています。

関谷さん…みんなで考えた質問を本番でもうまく言えた。
高荷さん…議場で発言するのは緊張したけどよかった。

道路の安全



関谷実月議員と
高荷さくら議員
が町に問う！

Q 「小江戸」の川越市が無電柱化に取り組んでいるので、「武蔵の小京都」である小川町も無電柱化を図ることで、「歩行者専用道路」の増設などができると考えるが。
A 建設課長 無電柱化による電線の地中化について、幅

無電柱化で歩道の確保は
答弁 通行時の安全確保に有効と捉えています。の狭い道路においては、電線を埋める場所の確保が難しい状況です。また、電柱設置の約10倍の費用が見込まれます。一方、無電柱化による通行時の安全確保や、街並みの美化などに有効な面がありますので、今後も検討していきます。

安藤さん…緊張したけど練習の成果を発揮できてよかった。
柴崎さん…貴重な経験でした。ありがとうございました。

広報の充実



安藤勇太議員と
柴崎優議員
が町に問う！

Q 簡潔な表現や、ふりがなを振るなど、子供でも分かる広報・情報発信を。また、子供向けの広報を作ったり、今ある広報に、子供向けのページを作ったりする等の工夫は。
A 総務課長 各広報の内容が、皆さんに伝わりづら

子供でも分かる情報発信を
答弁 子供向け広報の発行について検討します。とを認識したので、情報が伝わるよう、さらなる工夫に努めます。また「子供向け広報」の発行については、皆さんと町職員とで一緒に取り組むことにより、分かりやすい情報発信ができるものと捉えていますので、検討を進めます。

原さん…本物の議場で質問は貴重な経験になった。
吉田さん…実際に議場で質問できて貴重な体験になりました。

高齢者の安心



原快成議員と
吉田彩音議員
が町に問う！

Q 高齢者の迷い人を出さないような取組は。また、オレオレ詐欺等の被害防止対策は。
A 長生き支援課長 迷い人の多くは「認知症」の方と考えられます。当町では認知症対策の取組として、脳トレ教室や介護予防教室、認知症検

迷い人や詐欺被害の防止は
答弁 安全で安心に暮らせる町を目指します。診などを実施しています。また、特殊詐欺の被害防止については「小川町消費生活センター」を設置し、警察や国など連携しながら対策に努めています。今後も、高齢者の皆さんが安全で安心に暮らせる町を目指していきます。

観光の発展



犬塚恒之介議員と
嶋田結月議員
が町に問う！

Q 道の駅のリニューアルの際に「オオムラサキとカタクリの林」や「仙元山見晴らしの丘公園」等を連携させた総合観光施設・拠点などの整備は。
A にぎわい創出課長 令和6年12月に、道の駅をリニューアルオープンするよう進めて

総合観光施設・拠点の整備は
答弁 道の駅のリニューアルを進めています。これに合わせて、オオムラサキとカタクリの林や、見晴らしの丘公園においても、もっと楽しんでもらうことを考えています。また、近くの流れる槻川や、周りの田んぼでも楽しめるようにできないか等を検討しています。

外国人への対応



粟生田尊議員と
最首悠人議員
が町に問う！

Q 外国人の皆さんにとって住みやすい環境づくりを。また、住みやすくなるために取り組んでいることは。
A 防災地域支援課長 週一度「日本語教室」を実施しています。日本語教室は、ボランティアの方により、日常

外国人が住みやすい環境を
答弁 情報発信に努めサポートしていきます。生活に必要な話を教えるとともに、当町で生活していくための情報なども伝えていきます。また、困りごとの相談に応じるなど、引き続き、外国人の方が住みやすい環境となるように努め、サポートをしていきます。

森林の保全



平山澤議員と
福島大輝議員
が町に問う！

Q メガソーラーなどの大規模開発を防止し、大切な森林資源や、自然環境を守るための条例制定は。
A 環境農林課長 温暖化対策と地域の自然保護を対立させるのではなく、両立させ、自然や安全に配慮した適切な太

開発から森林を守る条例は
答弁 令和4年4月1日から施行しています。陽光発電事業になることが重要と考えています。そこで、地域住民等の安全な生活及び自然環境の保全を図ることを目的として「小川町太陽光発電設備の適正な設置及び管理等に関する条例」を、令和4年4月1日から施行しています。

今後の部活動



赤松大輝議員と
馬場理己議員
が町に問う！

Q 各自治体で、部活動の「地域移行」が検討されているが、当町における見通しは。また、複数の部活動（競技）が同時に活動することを想定した施設の充実・確保について考えは。
A 学校教育課長 国の方針に基づき、令和7年度を目標

地域移行に向けた見通しは
答弁 令和7年度を目標に移行を進めていきます。に週休日における部活動の地域移行を進めていきます。現在は、町内スポーツ協会等への情報提供と、近隣市町村の情報収集に努めています。また、施設については、学校の体育館等も含め、町内の施設で活動することを考えています。

赤松さん…町執行部に質問できて貴重な経験になりました。
馬場さん…自分の考えを直接提案することができました。

平山さん…議会の進め方を体験できてよい経験になった。
福島さん…議員の仕事を経験することができてよかった。

粟生田さん…議場で質問や答弁が聞けて貴重な体験ができた。
最首さん…本物の議場で貴重な体験ができてよかった。

犬塚さん…本番はしっかりと質問と提案ができてよかった。
嶋田さん…人生一度の貴重な経験ができて楽しかったです。

子供議会を経験して、皆さんが思ったこと、感じたこと
Mini Interview オガワマチのこと・ギカイのこと「一緒に見よう、考えよう」

小川町議会だよりは 町民登場に「タワル」！ 広い年代の皆さんに、たくさん登場していただきます。

次ページは 大人議員の一般質問！